

今回の現場も当然スマートコンストラクションで！



狭い現場にも ICT油圧ショベルPC128USi

「現場の手間が減るのを期待して導入しました。」と話すのは鹿児島県に拠点を置く、ヤマグチ(株)の課長 西川正臣さん。今回の現場は、鹿児島県始良郡吉松地区を流れる川内川の堤防強化工事。導入の経緯を西川課長に聞いた。「建設現場でのICT活用は世間の流れだと思います。以前からICT建機を活用して施工してきた実績がありますので、今回の現場でも作業員の手間を最小限に抑えるためにスマートコンストラクションを導入しました。」と教えてくれた。担当営業に聞くと、「ヤマグチ(株)様はこれまでも多くの現場でICT施工の実績を積み重ねられています。こちらの現場も初めからスマートコンストラクションでの施工を検討されており、今回の現場は、幅が狭くなることがわかっていたので、ICT油圧ショベルのPC128USiを導入されました。」と話した。



課長 西川正臣さん

鹿児島県 ヤマグチ(株) 様

「人と技術をベースに
快・環境を目指します」
常に、技術の研鑽と革新に努め、

顧客のニーズの
多様化・高度化に対し、
高い精度を以って応える
信頼の「総合建設業」を
永續の社是とします。

掲載月:2017年11月

豊富な経験 使いこなすICT建機

PC128USiを導入した感想を現場代理人の西川課長に聞いた。「スマートコンストラクションを導入してなかったらとても手間が掛かる現場でした。幅は狭いけど距離が長かったので、丁張の設置作業や確認作業などに、追加の人員が必要でしたね。」と話した。また、「ICT建機にインプットされている設計図面のデータを応用することで測量もでき、補助作業員がいなくても次工程の施工に進めることができました。」と教えてくれた。担当営業に聞くと、「今回は狭い現場になりましたが、小回りの利くPC128USiを採用することで、接触事故のリスクを減らし安全に施工を進めて頂けました。ヤマグチ(株)様はICTを活用した施工の経験が豊富なので、ICT建機を使いこなされています。現場から、また新たなICT建機の活用方法が生まれると思います。」と笑顔で話した。

